

令和7年度



音羽小学校だより

特別号

児童集計

京都市立音羽小学校
校長 岡 博士
TEL 075(592)0001

学校教育目標

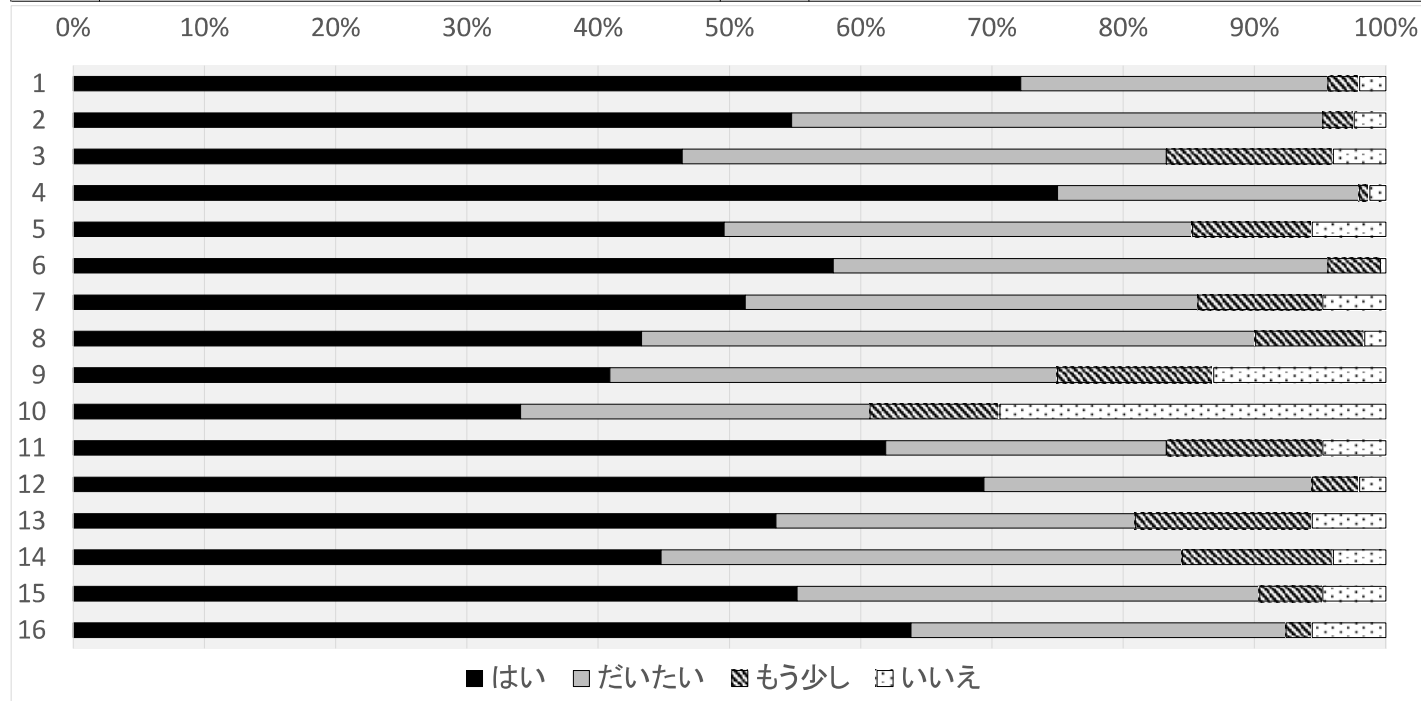
「夢と希望にむかって自ら学び続ける音羽の子」
～よりよい社会を創造する子どもの育成～

保護者・地域のみなさま、本校の学校教育にいつもご理解とご協力ありがとうございます。
12月に実施した(児童・保護者・教職員・地域)アンケートの集計ができました。分析した結果をお知らせいたします。



保護者集計

1	学校生活は楽しいですか。	9	悩みやこまっていることを相談できていますか。
2	学校での学習はよくわかりますか。	10	小学校と中学校で一緒にいろいろな取組をすすめていることを知っていますか。
3	将来の夢や希望をもって学習できていますか。	11	外で元気に体を動かしていますか。
4	GIGA端末を調べ学習や様々な活動に使うことができますか。	12	安全に気を付けて生活できていますか。
5	家庭学習に進んで取り組んでいますか。	13	好き嫌いをせずにバランスよく食べていますか。
6	学校のきまりや社会のルールを守っていますか。	14	規則正しい生活ができていますか。
7	自分から挨拶をしていますか。	15	学年2人(3人)の先生が担任であることで、学校生活は過ごしやすくなりましたか。
8	他の人を思いやった言動ができていますか。	16	先生が教科ごとに代わる授業は、わかりやすかったですか。

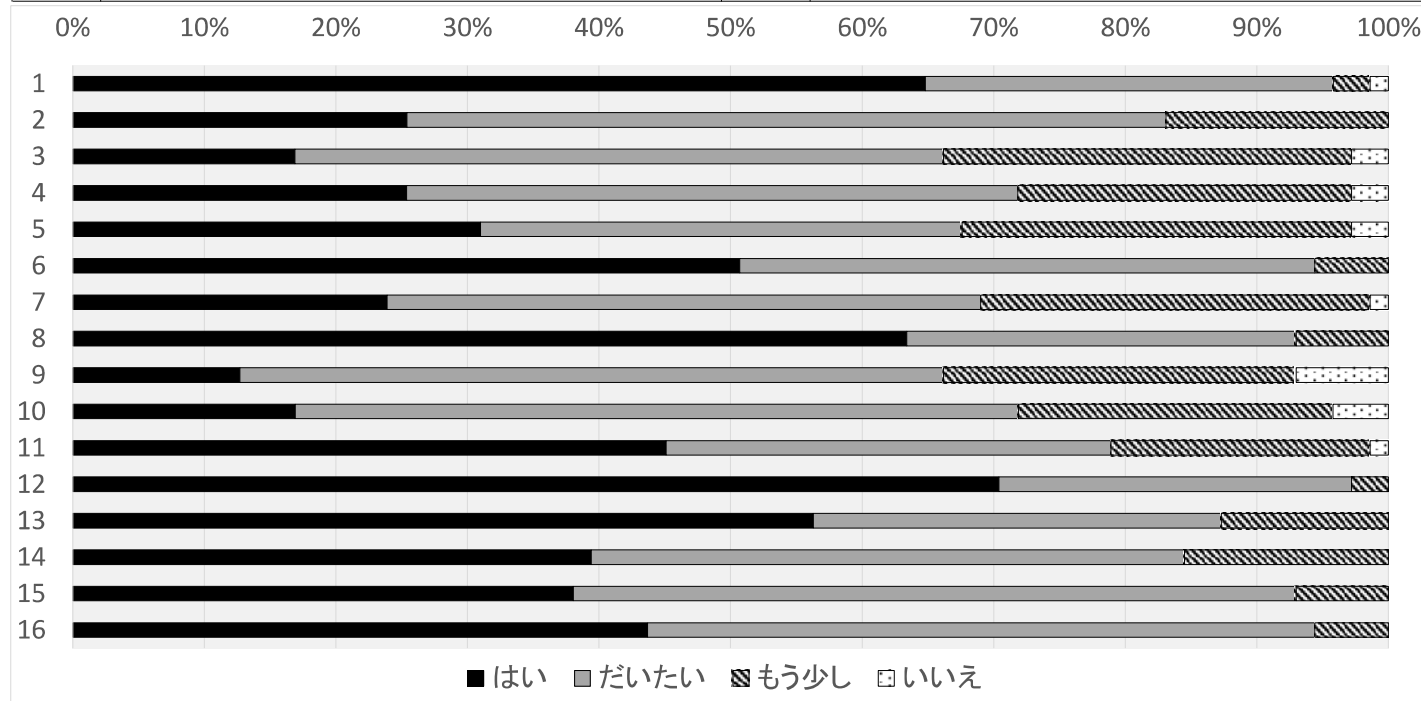


●設問1の「学校生活は楽しいですか。」については、前期よりも「はい」「だいたい」の割合が増え95%を上回りました。保護者アンケートでも同様に95%を超えていて、児童・保護者の方共に充実した学校生活が送れていると感じているようです。これは、良好な友達関係が築けていることだけではなく、保護者の方々のご家庭での配慮のおかげだと思います。本当にありがとうございます。しかし、少数ではありますが「もう少し」「いいえ」と回答している児童がいるのも事実です。そのような児童の声を聞き逃すことなく、しっかりと寄り添えるようにしていきたいと思います。

●設問4の「GIGA端末の活用」については、前期よりも「はい」「だいたい」の割合が20%近く増え、98%程になりました。これは、2学期から『2nd GIGA』として導入されたiPadを活用してきた結果が出ていると思います。操作性や機能が向上したことで、児童も教職員も積極的に学習で活用することができるようになりました。

●設問14の「規則正しい生活」については、「もう少し」「いいえ」の割合が他の項目に比べて前期よりも増えています。早寝・早起きだけではなく、バランスの取れた食生活や手洗い・うがい、宿題などを計画的に進めること、スマホ・ゲームなどの時間を決めることなど、気を付けるべきことはたくさんあります。出来ることから少しずつ取り組んでいって、より良い生活を送れるようにしてほしいと思います。

1	お子さんは、安心して、楽しく登校することができていると思われますか。	9	お子さんが悩みや困りに対して学校に気軽に相談できていると思われますか。
2	お子さんは学習内容がよくわかっていると思われますか。	10	小中が連携して教育活動に取り組んでいると思われますか。
3	お子さんは夢や目標をもって活動できていると思われますか。	11	お子さんは、外で元気に体を動かしていますか。
4	お子さんは、学習や各種教育活動にGIGA端末等のICT機器を活用していると思われますか。	12	お子さんが、安全に生活できるように声かけをされていますか。
5	お子さんは、家庭学習に取り組んでいると思われますか。	13	お子さんが、バランスの良い食事をするように心がけていますか。
6	お子さんは、学校のきまりや社会のルールを守れていると思われますか。	14	お子さんは、規則正しい生活ができていますか。
7	お子さんは、自分からすすんで挨拶ができていると思われますか。	15	お子さんにとって、チーム担任制は、よりよいものだと思いますか。
8	お子さんは、他者を大切にし、仲良く過ごすことができていると思われますか。	16	お子さんにとって、教科担任制は、よりよいものだと思いますか。



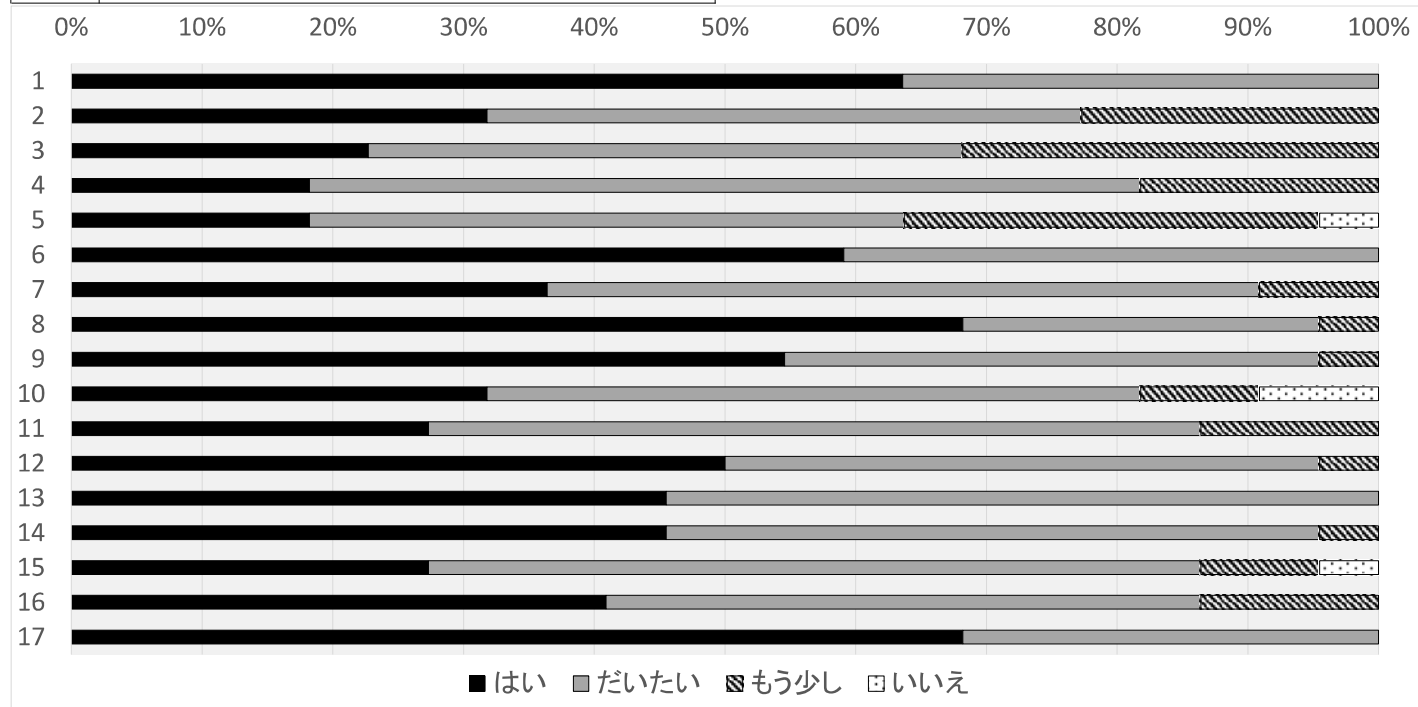
●設問5の「家庭学習への取り組み方」については、前期よりも「はい」「だいたい」の割合が少し減ってしまいました。今年度から取り組んでいる全校で統一した宿題内容が恒常化していき、進んで家庭学習に取り組む児童が少しずつ減ってきているのかもしれませんが。新しい取組を始めるのは難しいですが、担任による積極的な声掛けや、子ども達にとって魅力的な自主学習の紹介などを通して、家庭学習に対する意識づけを再度行っていきたいと思います。

●設問8の「他者を大切にし、仲良く過ごすことができているか」については、「はい」の割合が前期よりも15%以上増えています。本校では、道徳科を中心に人権学習を行っています。道徳の学習では、「正しい行動を考えるだけではなく、それを普段の生活に生かすことが大事」と児童に伝えています。それをしっかりと実践してきた結果が数値にも表れているので、非常にうれしく思います。

●設問15・16の「チーム担任制・教科担任制」については、「いいえ」の選択がありませんでした。今年度の曜日による担任の入れ替えを行わない方法が、少しずつ良い方向に向かっているのではないかと思います。また、全学年での児童の情報共有の場を月1回必ず設けており、そこでの話し合いの内容も他の学年の児童理解へとつながっています。それでも、「もう少し」と感じている保護者の方はまだいますので、引き続き学校体制で取り組んでいきたいと思います。

教職員集計

1	児童一人一人を大切に、安心して学校生活が送れるような環境づくりができていますか。	10	小中が連携して教育活動に取り組んでいると思いますか。
2	教材や指導法を工夫し、わかりやすい授業を行うことができていますか。	11	体力向上の取組を意識して進めることができていますか。
3	将来の夢や希望をもてるようなキャリア教育を行うことができていますか。	12	安全教育の充実ができていますか。
4	学習や各種教育活動にGIGA端末等のICT機器を活用させることができていますか。	13	健康教育・食育に力を注いでいますか。
5	児童に自学自習の力を身に付けさせることができていますか。	14	規則正しい生活を送るための取組を意識して進めることができていますか。
6	児童に学校のきまりや社会のルールを守るように指導できていると思いますか。	15	チーム担任制により、教育的な効果がありましたか。
7	児童に挨拶の習慣を身に付けさせることができていますか。	16	教科担任制により、教育的な効果はありましたか。
8	児童の誤った言動に対しては、素早く対応し指導していると思いますか。	17	全教職員が学校いじめ防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めていると思いますか。
9	児童・保護者の訴え(アンケート結果を含む)や相談内容を共有できていると思いますか。		



●設問3の「キャリア教育」については、前期よりも「はい」「だいたい」の割合が10%以上減っています。運動会などの行事を中心にめあてや目標を決めて取り組んでいましたが、これからの生き方や将来展望について考えることにまでは結びついていないようです。今後は、教職員の意識改革を進めるとともに、学校全体の取組としても考えていきたいと思います。

●設問4の「GIGA端末等のICT機器」については、前期よりも「はい」「だいたい」の割合が20%近く増えています。児童同様、2学期から導入されたiPadが良い結果に結びついています。起動や読み込みにかかる時間が格段に短くなったことや、タッチペンが配布されたことによりタイピングが難しい低学年を中心に操作がしやすくなったことで、授業での活用場面が増えたのではないかと思います。今後も引き続き積極的に活用していきたいと思います。

●設問12の「安全教育の充実」については、「はい」「だいたい」の割合が10%以上増えています。これは、学校としての取組だけではなく、保護者・地域の皆様のお力添えによるものが非常に大きいです。保護者・地域の皆様のご協力のおかげで、子ども達が毎日安心・安全に登下校できています。大変お忙しい中見守り活動をしていただいていることに学校として感謝をしてもいいのですが、引き続きご協力いただけますと本当にありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

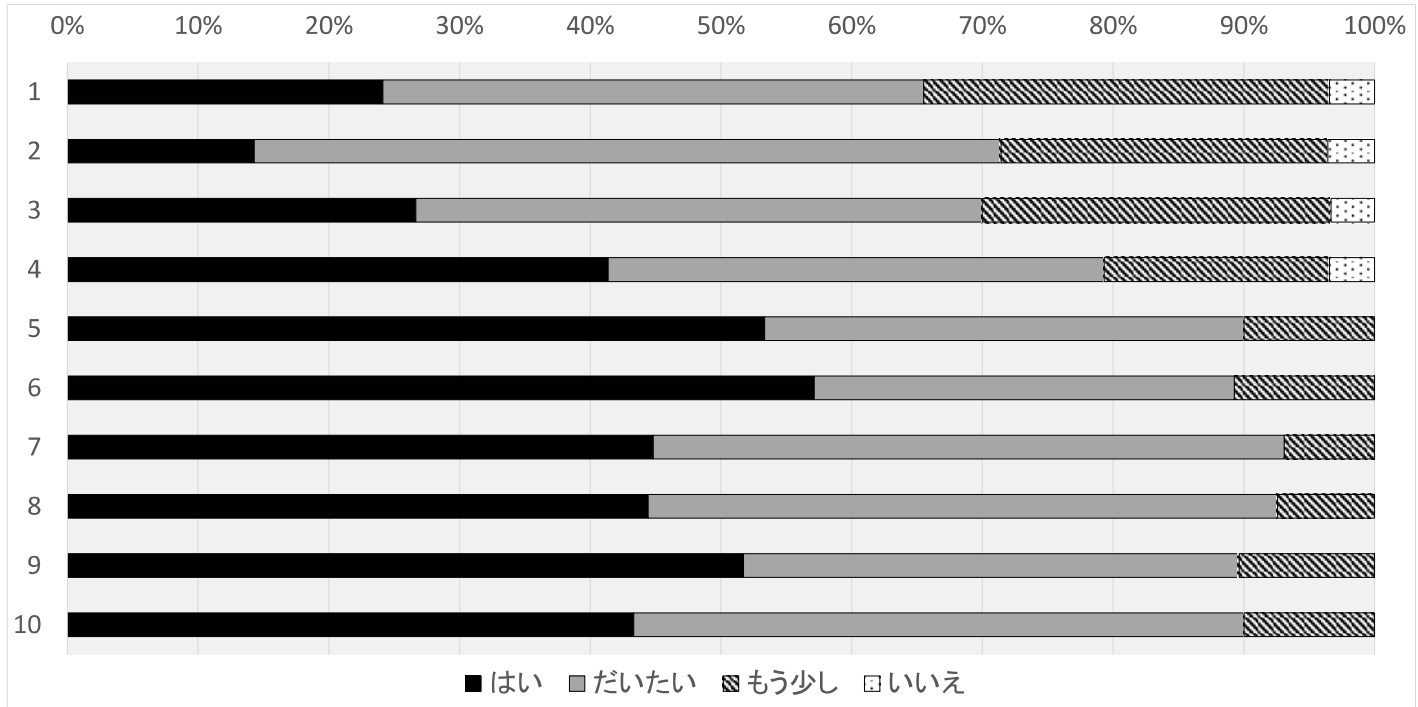
学校評価をふりかえって

～後期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました～

結果から、音羽小学校の教育が地域の皆様・保護者の皆様のご理解と温かな見守りに支えられていることを再確認するとともに、本校の課題も明らかにすることができました。学校教育目標 “『夢と希望にむかって自ら学び続ける音羽の子』 ～よりよい社会を創造する子どもの育成～”の具現化をめざし、取組を進めて参りたいと思います。これからも、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

地域集計

1	子どもたちは、あいさつをしていますか。	6	教職員は、率先して地域の方にあいさつをしていますか。
2	子どもたちは、登下校時や放課後、休日に交通ルールを守り、安全に過ごすことができていますか。	7	学校は、安心・安全な場所になっていると思いますか。
3	子どもたちは、進んで地域行事に参加していますか。	8	学校は、環境整備や美化活動に取り組んでいますか。
4	学校教育のねらいが伝わっていますか。	9	学校が中心となって、地域・PTAと連携が取れていますか。
5	学校だより・学校ホームページ等を通して、学校の様子が伝わっていますか。	10	学校は、地域を大事にし、地域の方が学校の行事に参加しやすい取組ができていますか。



●設問1の「子ども達のあいさつ」については、前期よりも「はい」「だいたい」の割合が10%近く増えています。あいさつについては、日々の学級指導だけではなく、朝会などで全校児童に呼びかけたり、児童会の子ども達が登校時に門に立って『世界のあいさつ』をしてくれたりしていました。大きな変化ではありませんが、少しずつ進んで挨拶ができるようになってきているように思いますので、引き続き声掛けなどを行っていきます。

●設問2の「登下校時の安全」については、前期よりも「はい」「だいたい」の割合が10%以上増えています。教職員の安全教育の項目が増加しているように、地域の方々も同じように感じていただいているようです。しかし、地域の方から児童の下校方法で危険とご指摘の声をいただくこともあります。そういった声を真摯に受け止め、丁寧に対応していくことで、地域・社会全体で子ども達の安全を見守っていききたいと思います。今後も、ご協力よろしくお願いいたします。

●設問9の「学校と地域・PTAの連携」・設問10の「地域の方の学校行事の参加」については、どちらも「はい」「だいたい」の割合が9割前後の高い数値となりました。2学期にはPTAや地域の各団体の協力を得て『ふれあい広場』が久しぶりに開催され、多くの方に参加していただきました。引き続き、全ての方に開かれた学校作りができるように努めてまいります。